Panasonic

ハロゲンペンダント（一般屋内用）

取扱説明書

保管用

品番　HNL16226 HNL16227 HNL16236 HNL16237 HNL16238

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

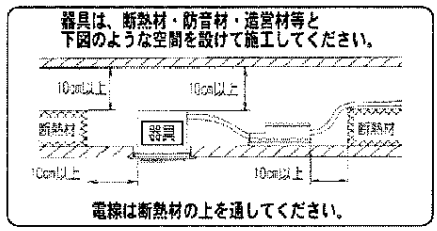
施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠危険

●断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しないでください。
火災の原因となります。

・住宅の断熱施工天井には、使用できません。



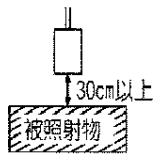
●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
施工に不備がありますと、火災・感電・落下の原因となります。

●器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換をしないでください。
火災・感電・落下の原因となります。

●天井埋込取付専用です。壁面、傾斜天井には、取り付けないでください。火災・感電・落下の原因となります。

●専用ダウントランス（別売）が必要です。必ず適合ダウントランスを使用してください。
火災の原因となります。

●器具と被照射物・被照射面の距離は、３０cm以上離してください。被照射物・被照射面の火災・変色の原因となります。



●表示された電源電圧（定格電圧±６％）以外の電源で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意

●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下・ランプの短寿命・サビの原因となります。

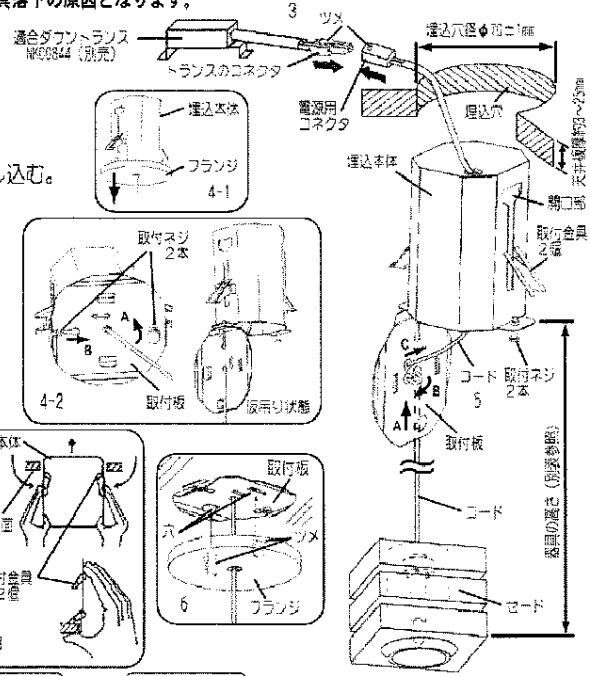
●周囲温度は、５～３５℃以外では使用しないでください。火災・ランプの短寿命の原因となります。

●取付面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取り付けてください。サビや変色の原因となります。

各部のなまえと取り付け方

ロックウール等のやわらかい天井および珪酸カルシウム板の天井に
取付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材を入れてください。
補強材なしの場合、天井材損傷・器具落下の原因となります。

（※この図は一部抽象化した図です。
品番により形状が異なります。）



1．取付前の確認

・器具質量（約１kg）および操作力に十分耐えるよう、
取付部の強度を確保してください。
不備がありますと、落下の原因となります。

2．天井にφ70±1mmの埋込穴をあける

3．電源の接続

・器具の電源用コネクタと、トランスのコネクタを、ツメの方向を合わせ確実に奥まで差し込む。
不備がありますと、感電・火災の原因となります。

4．埋込本体の取付

1. フランジを引っ張り、取付板から取り外す。
2. 取付ネジ２本を５mm程度ゆるめ、取付板をA，Bの順に動かし仮吊り状態にする。
3. 取付金具を押えながら、埋込本体を埋込穴に押し込んだ後、
埋込本体の内側から取付金具を２個共下にずらし固定する。
コードが埋込本体と埋込穴の間に挟まらないように注意してください。
埋込本体の固定後、天井面と埋込本体との間に隙間がないことを確認してください。
不備がありますと、火災・落下の原因となります。

5．器具高さの調節

1. 取付板に通っているコードを短くする場合は、A，B，Cの手順でずらし
コードの長さを調節する。（長くする場合は、逆の手順で行ってください。）
器具の高さの調節範囲は、品番により異なります。別表を参照ください。
2. 余ったコードを束ね、コードが開口部から外側に出ないように注意して、
埋込本体の中に入れる。
3. 4-2と逆の手順で、取付板を取付ネジに引っ掛ける。
4. 取付ネジを２本共、ドライバーで締める。
コードが取付板と埋込本体の間に挟まらないように注意してください。

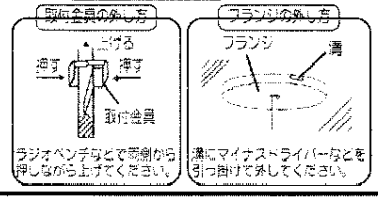
㊟コードを無理に折り曲げて使用しないでください。
不備がありますと、火災の原因となります。

6．フランジの取付

・フランジのツメを取付板の穴２カ所に合わせて押し上げ、取付板に固定する。

7．ランプの取付

・裏面の「ランプ交換方法」を参照し、ランプを取り付ける。



別表

品番	器具の高さ
HNL16226	約491～1691mm
HNL16227	約491～1691mm
HNL16236	約491～1691mm
HNL16237	約491～1691mm
HNL16238	約650～1850mm

取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管してください。**

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- **器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換をしない。**火災・感電・落下の原因となります。
- **異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店に相談する。**火災・感電の原因となります。
- **布や紙などの燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。**火災の原因となります。
- **ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って、約30分してから行う。**やけど・感電の原因となります。

⚠注意

- **アルカリ系洗剤は使用しないでください。**強度低下による破損の原因となります。
- **器具を温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）の近くや、湿気の発生する場所では使用しないでください。**
  火災の原因となります。
- **照明器具には寿命があります。設置して※10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。**
  点検・交換してください。
  ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- **周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。**
- **1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店などの専門家による点検をお受けください。**点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

保証について

1. 保証について…この商品の保証期間は1年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
2. 保証書について…保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
3. 補修用性能部品について…弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
   補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換　⚠注意　必ず電源を切って行ってください。やけど・感電の原因となります。

- 器具の清掃について……水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
  シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
  変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ランプ交換について……器体表示にしたがって、下記の指定されたパナソニック製のランプを使用してください。
  不備がありますと、火災・落下の原因となります。

⚠警告	**指定以外のランプを使用しない。**火災の原因となります。

適合ランプ（指定）	おすすめの交換ランプ
低封入圧12Vミニハロゲン電球20W（G4口金）	J12V20WAS・F

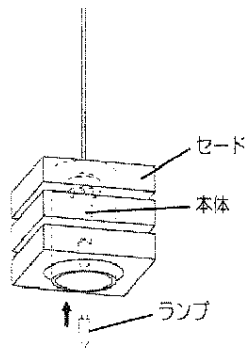
●ランプ交換方法

HNL16226, HNL16227, HNL16236, HNL16237の場合

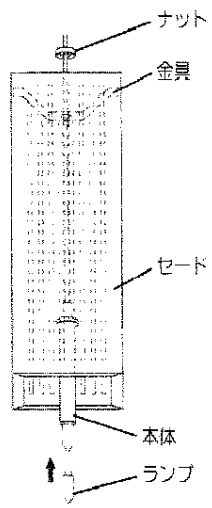
1. セードを持ち上げる。
2. ランプのピンを、本体の穴に差し込む。
   不備がありますと、ランプの落下・感電・火災の原因となります。
3. セードを元の位置に静かに下げる。
   セードを落下させないよう注意してください。破損の原因となります。

HNL16238の場合

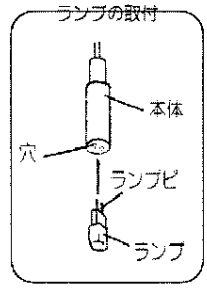
1. ナットをゆるめ、セードを持ち上げる。
2. ランプのピンを、本体の穴に差し込む。
   不備がありますと、ランプの落下・感電・火災の原因となります。
3. セードを元の位置に静かに下げ、本体を金具の穴に通す。
   セードを落下させないよう注意してください。破損の原因となります。
4. ナットを締める。
   セードが水平になるように位置を調節して、ナットを締めてください。



HNL16226, HNL16227
HNL16236, HNL16237



HNL16238



⚠注意

■**点灯中や消灯直後のランプやその周辺に触らないでください。**
やけどの原因となります。

KE0409-020112

パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365（フリーダイヤル）0120-878-236（FAX）